

(様式第4号)

上田市博物館協議会 会議概要

1 審議会名	令和5年度第1回上田市博物館協議会
2 日時	令和5年5月29日 午後1時30分から2時40分まで
3 会場	信濃国分寺資料館講堂
4 出席者	児玉会長、小宮山会長代理、鎌田委員、矢島委員、寺島委員、小駒委員、米澤委員
5 市側出席者	坂部市立博物館長、小山信濃国分寺資料館長、川上丸子郷土博物館長
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 1人
8 会議概要作成年月日	令和5年5月29日

協 議 事 項 等

1 開 会 (事務局)
2 あいさつ (坂部館長) <ul style="list-style-type: none">・改選後の第1回博物館協議会の開会にあたり、委員の皆様には、博物館協議会委員を快諾いただき、心よりお礼を申し上げます。・博物館協議会は、博物館の運営に関する教育委員会の諮問機関として設置され、任期は2年間。・今年4月1日施行の博物館法一部改正により、資料のデジタルアーカイブ化や他館との連携、文化観光活動の推進等、博物館に求められる役割が追加された。・また、今年4月1日から市役所の組織改正により、櫓復元推進室及び上田城跡整備室が新たに設置され、今以上に上田城跡の整備も進むと思われる。・3年余り続いた新型コロナウイルス感染症も落ち着きをみせ、GWには多くのお客様が来館した。・今年度の博物館事業計画について、委員の皆様から御意見を伺い、充実した事業としたい。
3 委嘱状交付 (坂部館長) <ul style="list-style-type: none">・委員へ委嘱状交付 任期は、令和5年4月1日から令和7年3月31日までの2年間。
4 自己紹介 (委員及び事務局)
5 会長、会長代理選出 (事務局から選出方法の説明。その後、坂部館長進行) <ul style="list-style-type: none">・会長に立候補する委員がいるか確認。立候補なしのため、委員から推薦の確認。・委員から児玉委員にお願いしたい旨提案あり。委員全員了承。 (児玉委員が、会長席に移動)・次に会長から会長代理を指名。児玉会長から小宮山委員を指名。 (小宮山委員が、会長代理席に移動) (会長、会長代理から挨拶) 児玉会長 <ul style="list-style-type: none">・博物館は、建物の老朽化や上田城跡の整備事業等、この2、3年で博物館を取り巻く状況が大きく変わっている。歴史や文化を感じられる事業を期待している。 小宮山会長代理 <ul style="list-style-type: none">・児玉会長と同じく5期目ではあるが、新鮮な気持ちで取り組みたい。

6 協議事項（以降児玉会長進行）

(1) 令和5年度事業計画について 資料1（事務局より説明）

- ・協議会資料に沿って、企画展の趣旨・概要・展示予定品及び講座等の計画を説明。
- ・市立博物館の夏季企画展「刀剣と甲冑」は、市立美術館と共同で行い、上田藩ゆかりのサムライアイテムとして甲冑と武具を紹介する。
- ・市立博物館の冬季企画展「別所・丸子温泉郷～上田温泉めぐり」（仮称）は、市内の温泉をテーマにそれぞれの温泉の歴史や近代観光産業との関わりを紹介する。展示は、比較的まとまった資料がある別所・丸子温泉郷を中心に紹介する予定。
- ・市立博物館で計画している博物館講座と古文書講座は、各5回開催し、博物館講座については、毎回講師を交代して行う。
- ・市立博物館では、上小郷土研究会役員有志の協力を得て、古文書整理を進めている。
- ・各館の入館者数の推移は、別添2による。
- ・信濃国分寺資料館の秋季企画展「地元の遺跡を知る～最近の発掘調査から」（仮称）では、真田町雁石遺跡、古里染谷条里遺跡の調査を紹介し、地元の埋蔵文化財への関心を高めたい。
- ・信濃国分寺資料館の新春特別展「新春蘇民将来符展」は、八日堂縁日に合わせ、蘇民将来符や古文書、八日堂縁日図を特別公開する。
- ・信濃国分寺資料館の講座については、広報うえだで参加の呼びかけを行い、親子で体験できる内容を計画している。また、万葉ボランティアの会と連携し、万葉植物園育成ボランティア活動も行う。

以降協議

（委員）市立博物館では、企画展の宣伝や広報はどのように行うのか。

（事務局）ポスターやチラシを関係各所に配布し、宣伝を行う。また、市内小学生用のチラシを作成し、親子入館料無料とする。テレビ局との共催でテレビでの宣伝も行う。

（委員）市立博物館の夏季企画展を市立美術館と共同で開催する意図は。

（事務局）・博物館法の一部改正により、他館との連携協力が求められているため、新たな試みとして、美術館との共同企画展を計画した。博物館では主に甲冑と武具を展示し、美術館では主に刀剣と甲冑を展示する。1つのテーマでそれぞれの館において、展示内容を特色付けることで、両方の館を訪れてもらいたい意図があり、新しいルート改革をしたい。

- ・共同企画展では、2館共通券も作る。

（委員）2館共通券の料金は、いくらか。

（事務局）大人1,200円となる。単独券は、美術館800円、博物館（櫓を含む）500円。

（委員）温泉の企画展は、温泉に関する新しい古文書等が見つかったのか。

（事務局）新たな古文書等は、見つかっていない。既存の資料から展示内容を検討している。

（委員）温泉組合等には、観光パンフレットは残っていないだろう。個人で保管している写真などを借用できたら良いと思う。

（委員）別所、霊泉寺、鹿教湯温泉は、元は宗教に関係した温泉であり、そのような歴史的な背景も展示で紹介できると良い。千曲バスの路線図は、まずメインの霊泉寺温泉に行き、次に鹿教湯温泉に行っていた。別所温泉には、遊園地があったなど、紹介できたらおもしろいと思う。

（委員）博物館に寄贈された高梨家文書の中に文殊堂を建てた際の記載がある。鹿教湯温泉との関連としての資料となるのではないか。

（委員）温泉がテーマの企画展は、今年の鉄道展に続き身近なテーマで、とてもおもしろい企画だと思う。

(委員) 温泉の企画展で、別所と丸子温泉郷は、それぞれたくさんの資料があり、2つの温泉を同時に調査するのは、大変だと思う。

(委員) 信濃国分寺資料館の秋季企画展で、「最近」とはいつ頃のことか。

(事務局) 令和元年に地元石舟自治会の方の協力で行った雁石遺跡の発掘調査報告書とわがまち魅力アップ事業で行った岩門城跡の調査を紹介するもの。

(委員) 最近、上田ではあまり発掘調査を行わないので、信濃国分寺資料館の秋季企画展は、子ども達にとっては、珍しい展示となるだろう。

(委員) 信濃国分寺資料館の「新春蘇民将来符展」では、八日堂縁日図が毎年展示されるが、とても細かい図なので見づらいため、PCに画像を取り込み、拡大したものを展示するなどすれば、来館者にとって見やすいのではないかと。今後検討してほしい。

(事務局) 昨年度の企画展では、八日堂縁日図について、部分を拡大し、A4のパネル10枚ほどで紹介した。

(委員) 八日堂縁日図は、何年か前の企画展でも拡大して展示をしたことがあった。

(委員) 八日堂縁日図は、とても興味深い図なので、その図の内容に関連した企画など考えてもらうとおもしろいと思う。

(委員) 信濃国分寺資料館の万葉ボランティアの会は、何人ほどか。

(事務局) 現在は10人ほど。メンバーは、高齢になってきており、年々減っている。

(2) その他

特になし

7 閉 会 (坂部館長)

- ・いただいた貴重な御意見を今後の事業に活かしたい。